

# 株主通信 第58期中間期

平成22年4月1日～平成22年9月30日



「お米」のおいしさ創造企業

岩塚製菓

岩塚製菓株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに当社第58期（平成23年3月期）第2四半期までの業績につきまして、ご報告申し上げます。当社グループは、「流通」米菓市場での生き残りを賭けて、ブランド力の育成とシェア拡大に向けた積極的な販売促進策を実施してまいりました。また、包装工程の自動化による生産性の向上と併せて、製販一体となった経営を進めてまいりました。

米菓業界では、各社が様々な販売施策に取り組み、上位企業によるシェア争いが厳しさを増しておりますが、V字回復の実現に向けて、より一層邁進してまいります。株主の皆様におかれましても、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 榎 春夫

## 地域と共に生きる 「お米」のおいしさ創造企業—

冬に出稼ぎをしなくてもいいようにと、「地域社会の経済的発展に貢献」することを経営理念に掲げ創業した岩塚製菓。

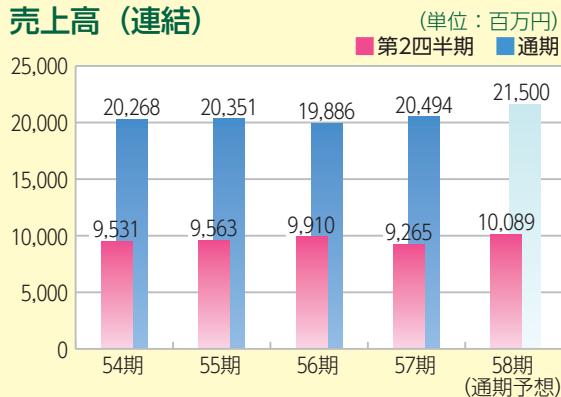
日本の伝統ある食文化を世界に広め、人々に喜びと豊かさを提供し、「お米」のおいしさを創造する企業を目指します。

私たちの夢は、おいしさでNo.1でありたい、新鮮さでNo.1でありたい、おいしさにこだわる私たち自身がNo.1でありたい、そして世界中の人々においしさの笑顔をお届けすることです。

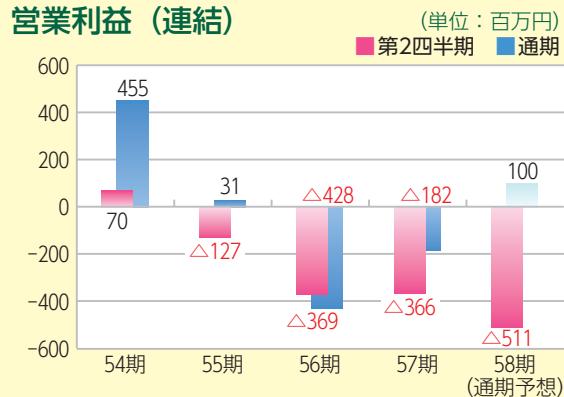
# 連結財務ハイライト



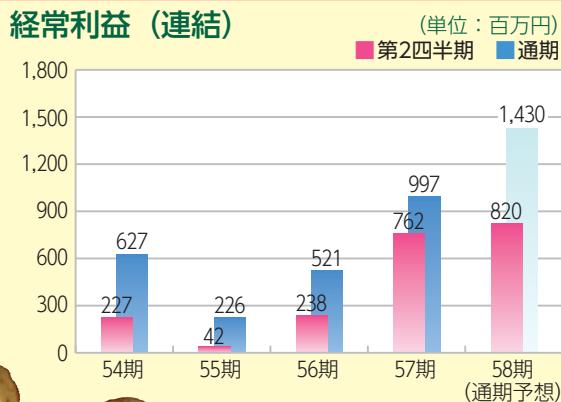
## 売上高 (連結)



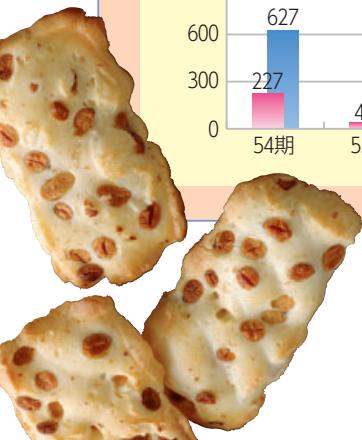
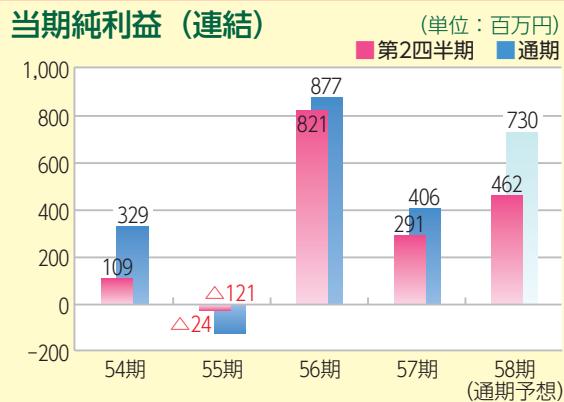
## 営業利益 (連結)



## 経常利益 (連結)



## 当期純利益 (連結)



## 当第2四半期の業績について

第58期（平成23年3月期）の当社の経営課題は、生き残りを賭けた『流通』米菓市場でのシェアの獲得とグループ会社の成長力の強化であると考え、主力製品の製造ラインの自動化に取り組み、そのコスト削減原資をシェア拡大に向けての販売促進策に投入するなど、積極的に事業を展開してまいりました。

『流通』米菓市場でのシェア拡大にあたり、マーケティング機能の強化による「岩塚製菓ブランド」の確立に取り組み、また、フルチャネルに対応した事業展開を行うため、子会社の立ち位置を再検討し、グループ会社の成長力の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期までの連結売上高は、100億89百万円と前年同四半期比8.9%増となりました。利益面につきましては、営業損失5億11百万円（前年同四半期は3億66百万円の営業損失）、経常利益8億20百万円（前年同四半期比7.7%増）、四半期純利益は4億62百万円（前年同四半期比58.7%増）となりました。なお、経常利益につきましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limited.からの株式配当金12億72百万円を営業外収益の受取配当金で計上しております。



## 岩塚ブランドの確立に向けて



当期は、今年3月に発売した「えびカリ」の売れ行きが好調に推移し、「岩塚の黒豆せんべい」「味しらべ」「新潟ひとつまみ海老黒胡椒」とともに、当社の主力を担う商品へと成長いたしました。

また、当期の課題である岩塚ブランドの確立に向けて、「大袖振豆もち」「黄金揚げ」「岩塚の鬼ひび」「岩塚の鬼ひびしょうゆ」などの既存商品の大胆リニューアルなどを実施いたしました。

国産米100%を使用し、ふっくら食感と大袖振大豆の香ばしさを味わえる「大袖振豆もち」、創業元禄12年の老舗「にんべん」のかつおぶしを100%使用しただしの旨味にとことんこだわった「黄金揚げ」、直火で丹念に煎った自慢の逸品「岩塚の鬼ひび」「岩塚の鬼ひびしょうゆ」など、品質

No. 1を目指す岩塚製菓の商品力を訴えるリニューアルとなりました。

また、昨年より続く品川女子学院との取り組みでは、来年2月に予定されている新商品の発売に向けて、生徒の皆さんとの開発が続いております。

『流通』米菓市場でのシェア拡大に向けては、主力製品の製造ラインの自動化により価格対応力を付け、企業対企業の取り組みを図ってまいりました。今後は、自動化の対象ラインを拡大し、生産性を向上させることにより、利益体質の構築、より力強いV字回復の実現に向けて取り組んでまいります。



黄金揚げ

大袖振豆もち

岩塚の鬼ひびしょうゆ

岩塚の鬼ひび

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 平成22年9月30日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	5,671,433	5,751,955
固定資産	56,603,692	49,387,117
有形固定資産	7,225,892	7,164,494
無形固定資産	65,844	59,221
投資その他資産	49,311,955	42,163,401
資産合計	62,275,126	55,139,073
(負債の部)		
流動負債	6,292,739	6,730,582
固定負債	18,283,615	15,363,267
負債合計	24,576,355	22,093,850
(純資産の部)		
株主資本	9,670,039	9,282,155
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	6,541,563	6,153,679
自己株式	△365,523	△365,523
評価・換算差額等	28,012,213	23,743,735
その他有価証券評価差額金	28,033,716	23,762,999
為替換算調整勘定	△21,503	△19,263
少数株主持分	16,518	19,331
純資産合計	37,698,770	33,045,223
負債純資産合計	62,275,126	55,139,073

### 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	10,089,051	9,265,804
売上原価	6,581,536	6,237,072
売上総利益	3,507,514	3,028,732
販売費及び一般管理費	4,018,540	3,395,040
営業損失(△)	△511,025	△366,308
営業外収益	1,350,703	1,157,870
営業外費用	18,685	29,032
経常利益	820,992	762,528
特別利益	32,313	35
特別損失	28,389	6,963
税金等調整前四半期純利益	824,916	755,601
法人税、住民税及び事業税	333,245	385,122
法人税等調整額	30,929	81,830
少数株主損益調整前四半期純利益	460,740	—
少数株主損失(△)	△2,236	△3,129
四半期純利益	462,977	291,778

### 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	644,225	888,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△487,782	△1,486,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△327,797	427,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,601	△2,826
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174,955	△173,220
現金及び現金同等物の期首残高	520,000	546,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	345,045	373,224

# 岩塚「もの」づくり道場

今年6月、当社の研修センターに、これまでに培ってきた米菓加工技術を次世代に伝承するための「岩塚『もの』づくり道場」を開設しました。

この道場では、創業者の加工技術への思いを伝承し、「伝達講習」や「IPS勉強会」などの座学のほか、模擬機や包装機を実際に使いながら、IPS（岩塚プロダクションシステム）の精神と「人」「物」「設備」の3つの要素を学ぶことができます。また、せんべいの焼釜などを実際に触れながら実習し、設備の保全を含めた生産技術の習得を行い、生産性の向上につなげていくことができます。



# 心



農産物の加工品は原料より良いものはない。  
 だから、良い原料を使用しなくてはならない。  
 ただし、良い原料からまずい加工品もできる。  
 だから、加工技術はしっかり身につけなければならない。  
 (創業者・談)

# 瑞花本店 移転オープン



**米** 処・新潟を代表する高級米菓の専門店として、昭和55年に『瑞花』は誕生しました。その2年後の昭和57年、岩塚製菓創業の地、長岡市に「瑞花本店」をオープンし、28年間ご愛顧いただきました。このたび、長岡駅前の長岡市複合施設「アオーレ長岡」（平成24年完成予定）の建設に伴い、「瑞花本店」を長岡駅前大手通り沿いに、平成22年10月1日、移転オープンいたしました。

**瑞** 花のあられ・おかき・おせんべいは、原料にこだわりひとつひとつ手作りに近い製法でつくられています。まさに職人技がひかる逸品です。一口食べたあとの、口に広がるお米の風味。これこそが本物の味…。

**揚** げたての天ぷらがサクサクしていておいしいように、あられ・おかき・おせんべいもできたてほどおいしいものです。店頭では、鮮度にこだわり毎日工場より直送しています。ぜひ、一度お住まいの近くの店舗にお越しください。

## 【直営店舗】

新潟県：本店、古町店、新潟駅ビル店、  
新潟三越店、新潟伊勢丹店、  
新潟大学前店

東京都：銀座店、松屋銀座店

北海道：札幌店

<http://www.zuika.jp/>

— おせんべい・おかきの通信販売 —

## 新潟味のれん本舗



新潟・越路の里から、  
つくりたてのおいしいおせんべい・おかきをお届けしています。商品の原材料は特に吟味し、伝統の職人技に新しい技術を積みひとつひとつ丁寧なおせんべい・おかきづくりを続けています。何よりできたての風味そのままのおいしさを召し上がっていただきたく、鮮度にこだわり、製造年月日を明記し、工場から直接お届けする通信販売を行っています。



<http://www.ajinoren.co.jp/>

## 越後抄



法人・団体などに米菓を中心に食品を販売しています。取引先様への手土産、お中元・お歳暮に、イベント等の粗品、景品にご利用いただいています。店頭では販売せず、つくりたてのおいしさ、香ばしさを工場直送でお届けいたします。また、新潟県内でお土産品の販売をしています。



<http://www.echigosyo.com/>


「つくる人」「たべる人」をつなぎます。  
里山元気ファーム


里山元気ファームは、平成21年6月17日に誕生しました。岩塚製菓創業の地である越後・長岡の「食べ物のうしろにあるもの」を伝えながら、つくる人とたべる人が行き交う市場＝縁を大切にする場をつくりたいと思います。それが私たちの“ファーム”です。丹精込めてつくられたお米、農産物を私たちが責任を持って皆様にお届けします。 <http://www.satoyama-genki.jp/>



瀋陽岩旺米粉製造有限公司  
旺旺・ジャパン株式会社

日本の伝統ある食文化を、製造技術や品質管理システムなど岩塚製菓の総合力とともに、中国・上海に拠点を置く旺旺集団（ワンワングループ）との技術提携を通じて、世界中に発信しています。



## 輝き★味来フェスタ2010開催

子会社の株式会社新潟味のれん本舗では、「輝き★味来フェスタ2010」を開催いたしました。「地域と共に生きる」岩塚製菓の社風を受け継ぎ、地域のお客様へ感謝の気持ちを伝える秋の祭典として4回目を迎えました。

今年のテーマは「祭り」。地域の伝統芸能「巫女爺（みこじい）」「悠久太鼓」などの披露や、周辺企業の協力による屋台村などが設置され、1万5千人のお客様に楽しんでいただきました。



## 地域ボランティア活動

本社では、4月から10月の毎月1回、「ノー残業デー&クリーン作戦」を実施しています。環境マネジメントの国際規格ISO14001の活動の一環として、電力の削減と地域貢献を目指し取り組んでいます。

また、昨年に引き続き、社員より古着を回収し販売する「ときめ木バザー」を実施し、売上金を緑の募金に寄付させていただきました。

これらの活動を通して、地域社会への貢献と環境問題への取り組みを続けてまいります。



## 品川女子学院との取り組み

「28プロジェクト」を掲げる品川女子学院（東京都）の中等部3年生との企業コラボレーション活動として、昨年から今年にかけて、新商品の開発に取り組んでいます。

現在は、試作品および白ばら祭（文化祭）でのモニタリングを終え、商品化に向けた最終段階に入っています。

当社のマーケティングスタッフも、この取り組みを通じて新鮮なエネルギーを吸収し、よりおいしい、新しい「岩塚製菓の味」づくりに挑戦してまいります。



品川女子学院との取り組みはブログで公開しています。

<http://www.iwatsukaseika.co.jp/shinajo/>

## 岩塚製菓の食育活動

「田んぼオーナー体験」を今年も実施しました。田植えと稲刈り体験を通じて、親子のふれあいと食の大切さを学んでいただこうと取り組み、7回目を迎えました。子どもたちには、お米作りの楽しさ、お米の大切さ、作ることの大変さを学び、稲を収穫する喜びを感じていただきます。

また、地元の農家の方たちとのふれあいは、地元農業の活性化になると考え、食育活動の一環としてこれからも取り組んでまいります。



## 会社の概要 (平成22年9月30日現在)

社名	岩塚製菓株式会社
本社所在地	新潟県長岡市浦9750番地
設立	昭和29年4月27日
資本金	16億3,475万円
従業員数	822名(連結) 933名
主な事業所	本社 R & D・Mセンター
(工場)	飯塚工場、沢下条(第一・第二・第三・第四)工場、 中沢工場、長岡工場、千歳工場
(支店)	札幌営業課、広域支店、仙台支店、新潟支店、 東京東支店、東京西支店、名古屋支店、大阪支店、 西日本支店

役員	代表取締役社長 取締役 取締役 取締役 取締役 常勤監査役(社外) 監査役 監査役(社外)	榎 春夫 中静 幸治 郷 芳夫 大矢 俊寿 小林 正光 関 春夫 平石 毅一 佐野榮日出
子会社	株式会社瑞花 株式会社越後抄 瀋陽岩旺米粉製造有限公司	株式会社新潟味のれん本舗 里山元気ファーム株式会社
関連会社	旺旺・ジャパン株式会社	

## 株主メモ (平成22年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 証券口座をお持ちの方は、お取引の証券会社にお  
問い合わせください。  
なお、未払配当金の支払い、支払明細発行につい  
ては、下記「特別口座の場合」のお問い合わせ先  
をご利用ください。

(特別口座の場合) みずほ信託銀行株式会社  
本店および全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店および全国各支店  
〒168-8507東京都杉並区和泉2-8-4  
0120-288-324 (フリーダイヤル)  
(ご注意) 単元未満株式買取以外の株式売買はできません。  
株券電子化前に名義書き換えを失念して、お手元  
に他人名義の株券がある場合は、みずほ信託銀行  
株式会社まで至急ご連絡ください。

## 株式データ (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	23,980,000株
発行済株式の総数	5,995,000株
株主数	3,965名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
岩塚製菓共栄会	320,200	5.54
株式会社紀文食品	305,000	5.28
株式会社北越銀行	280,000	4.85
平石毅一	264,346	4.58
UBS AG SINGAPORE	239,000	4.14
榎 政男	235,805	4.08
株式会社第四銀行	200,000	3.46
榎 キク	162,619	2.82
岩塚製菓従業員持株会	151,800	2.63
株式会社魚沼運輸	115,000	1.99

注) 上記は、当社所有の自己株式218,589株を控除して計算しており  
ます。

## 株主優待制度

当社では、日頃のご厚情に感謝し、当社株式を100株以上お持ちの株主様に当社製品を贈呈いたします。  
9月30日現在の株主様には11月に、3月31日現在の株主様には6月に発送いたします。

100株以上の株主様  
1,000円相当

500株以上の株主様  
2,000円相当

1,000株以上の株主様  
5,000円相当

\* 2,000株以上の株主様  
5,000円相当

\* 2,000株以上お持ちの9月30日現在の株  
主様には翌年3月、3月31日現在の株主  
様には9月にも贈呈いたします。

なお、基準日以降に住所変更のお手続きをされた方は、ご優待品が届かない場合  
がございますので、予め当社までご連絡ください。

岩塚製菓株式会社 管理部総務課 〒949-5492 新潟県長岡市浦9750番地  
Tel: 0258-92-4111 Fax: 0258-92-6060



イメージ写真

